

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

|               |               |            |       |     |
|---------------|---------------|------------|-------|-----|
| 受理番号          | 学 校           | 教 科        | 種 目   | 学 年 |
| 105-14        | 中学校           | 社会         | 歴史的分野 | 1～3 |
| 発行者の<br>番号・略称 | 教科書の<br>記号・番号 | 教科書名       |       |     |
| 229 学び舎       | 歴史 229-72     | ともに学ぶ人間の歴史 |       |     |

## 1. 編修の基本方針

- ① 本書は、生徒が本文や図版を基に、問いや疑問（課題）をもてるように編集しています。問いや疑問をもつことは、生徒が教科書内容に対して自ら関わる第一歩となり、学びの主体性を確立します。生徒の問いや疑問は個性的で、一人ひとり異なるものです。そういう自由で豊かな発想が飛び交う教室であれば、一つの問いや疑問に対して多くの生徒がそれに応答し、対話が成立していきます。対話は教室にとどまらず、広がる可能性をもちます。学びあいの成立です。このような学びによってこそ、生徒が国際的視野に立ち、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な公民的資質を備えるべき、第一歩となるはずです。
- ② そのような学びの基礎となるべきものは、歴史に関する幅広い知識と教養です。本書は歴史研究に基づく多様で興味深い歴史の事実を、本文や図版にあらわしています。そこでは人びとの生きる姿を描き、具体的な歴史の場面を提示するものであるため、生徒は問いや疑問を基に、自らその事実の内実や意味を追求し、真理を求める態度を形成していきます。また、歴史の場面での人びとの真摯な営みに接することによって、生徒は豊かな情操と道徳心を培うことができます。
- ③ 本書が描く多様な人びとは、豊かな自然の中で、勤労に励み、多様な生業・職業に携わることによって、生活・暮らしをたて、何よりも自然を大切に、生命を尊重して、環境の保全に努めてきたことを、人類誕生以来の営みとして描いています。
- ④ 生徒がそのような人びとの姿をつぶさに見ていくとき、人間の尊厳、一人ひとりの個性、個人の価値に気づき、その創造性や自主・自立の精神の大切さに気づくようになります。さらに生徒が人びとの営み、その意味を追求することは、そこで培われた伝統と文化を尊重し、それを生み出した人びとへの感動を引き出します。
- ⑤ 本書は世界史教材を多様に設定しています。これら世界各地の人びとの営みに目を向けるとき、共存や連帯の意識を生み出すとともに、自国や地域を主体的に認識しようとする姿勢を培うことができます。その点から戦争の惨禍に関する本文・図版に接するとき、国際社会の平和と発展に寄与する態度を培っていくことが期待できます。
- ⑥ 一方、各時代の歴史の場面を人びとの営みとして提示するとき、女性の生きる姿を具体的に描くことに力点を置きました。これは男女の平等のみならず、自他の敬愛と協力を重んずる態度へと結実します。  
本書は生産に取り組み、懸命に働く人びと、生活の困難を乗り越えようとする人びとの姿を描き、沖縄やアイヌの人びとの取り組みも具体化しています。これらのことは、生徒が正義と責任を重んじ、公共の精神に基づいて、主体的に社会の形成に参画しようとする態度を培うことに寄与するものです。

## 2. 対照表

| 図書の構成・内容                   | 特に意を用いた点や特色   | 該当箇所  |
|----------------------------|---|---|
| 学習課題の設定／章の扉／章のふりかえり／学習のまとめ | <ol style="list-style-type: none"> <li>① 各時代(部)の学習の初めに、課題意識を育成できるような導きを設定し、生徒が進んで知識を深め真理を求める態度を養えるようにしました。(第1・2号)</li> <li>② 章の初めに、各地域の生活や世界のつながりを視覚的に捉えられるページを設けて生徒の課題意識を育成し、知識を深め真理を求める態度を養えるようにしました。(第1・2号)</li> </ol> | <p>①11, 55, 85, 137, 183, 247 ページ</p> <p>②10～11, 36～37, 54～55, 84～85, 106～107, 136～37, 160～161, 182～183, 212～213, 246～247 ページ</p> |

|   |  |   |
|---|--|---|
|   | ③ 章のふりかえりや部の学習のまとめで、基本的な知識と、多面・多角的な視点から学習をふりかえり、学習したことを関連付けて考えられるようにしました。また、さまざまな言語・表現活動と話し合い・討論学習を通して、協業的、課題解決的に考えを深められるように意を用いました。これらを通して主体的に大きな歴史の流れを理解し、知識を深め真理を求める態度を養えるようにしました。(第1・2号)   | ③34～35, 52～53, 82～83, 104～105, 134～135, 158～159, 180～181, 210～211, 244～246, 278～281 ページ   |
| <b>歴史への案内</b>                           | ① 歴史学習のスタートに、地域に刻まれ記憶されている歴史と接することを通して、歴史を学ぶ意味を考え、知識や真理を求める態度を養えるようにしました。(第1号) また、地域の文化財に目を向け、伝統や文化への関心をもてるようにしました。(第5号)<br>② 小学校の学習をふりかえり、調べ学習の方法を体得できるようにし、例題を通して年代のあらし方が身に付くようにするなど自主的な学習を促しました。(第2号)   | ①4～5 ページ<br><br>②6～9 ページ  |
| <b>第1部 原始・古代</b><br>第1章<br>文明のはじまりと日本列島 | ① ラミダス猿人の骨、アブ・フレイラ遺跡、野尻湖遺跡など遺跡・遺物を詳しく取り上げ、生徒が考古学者のような気持ちになって実証的に探求し、知識や真理を求める態度を養えるようにしました。(第1号)<br>② 厳しい自然環境の中で採集や狩猟を行い、栽培種を創りだし、道具や技術の改良を進めた人びとの努力を学び、環境の保全に寄与する態度や勤労を重んずる態度を養えるようにしました。(第2・4号)<br>③ 人びとの悩みや社会の矛盾に向き合う中で生み出されたブッダ、イエス、孔子の宗教や思想について理解し、多様な宗教や文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第3・5号)<br>④ 「魏志倭人伝」などの史料や黒井峯遺跡の豊富な遺構・遺物を取り上げて、歴史を実証的に探求し、知識や真理を求める態度を養えるようにしました。(第1号)   | ①12～29 ページ<br><br>②12～17, 19, 20～21, 24～29 ページ<br><br>③18～19, 21, 23 ページ<br><br>④30～33 ページ                                      |
| 第2章<br>日本の古代国家                          | ① 飛鳥寺、山城と水城、平城京跡、木簡、戸籍などの史料を通して、歴史を実証的に探求し、律令国家の成立について理解を深め、知識や真理を求める態度を養えるようにしました。(第1号)<br>② 最初の仏教指導者となった女性たち、平安時代の女性作家などを取り上げ、男女の平等や個人の価値を尊重してその能力を伸ばし、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました。(第2・3号)<br>③ 飛鳥寺、藤原京、平城京、東大寺大仏、正倉院宝物、かな文字、平等院鳳凰堂などについて、国際的なつながりを理解して多面的に文化への関心を高め、尊重する態度を養えるようにしました。(第1・5号)<br>④ 『万葉集』『日本書紀』『古事記』『風土記』『源氏物語』『枕草子』などの書物を通して、当時の人々の信仰や物の見方や感じ方に気付き、文化への関心を深められるようにしました。(第1・5号)<br>⑤ 8世紀の伝染病や大地震、陸奥国大津波など災害の歴史に目を向け、生命を尊び、環境保全に寄与する態度を養えるようにしました。(第4号)<br>⑥ 桓武天皇の政治から摂関政治へと移り変わる中央の政治と、東北地方の様子や国司の苛政に対する訴えなど地方の動きを取り上げ、律令国家の変容を多面的にとらえられるようにしました。(第1号) | ①38～45 ページ<br><br>②38, 50～51 ページ<br><br>③38～41, 44～45, 50～51 ページ<br><br>④43, 45, 50～51 ページ<br><br>⑤41, 48 ページ<br><br>⑥48～49 ページ |
| <b>第2部 中世</b><br>第3章<br>武士の世            | ① 武士のおこり、平氏政権、院政、鎌倉幕府、室町幕府について、具体的な記述と資料から、政治、社会の変化を理解しやすいようにしました。地方の有力者の土地をめぐる争いや、訴え状を書いた人びと、一揆を結んだ人びとの願いなどから、中世を多面的・多角的にとらえられるように意を用いました。(第1号)<br>② 荘園に住む人びと、手工業や流通に携わる人びと、惣村の人びとなど、働く人びとの姿を政治や社会の仕組みの中で理解し、自主・自律の精神や、勤労を重んじる態度を養えるようにしました。(第1・2号)<br>③ 一遍など鎌倉仏教の万人平等の思想や、室町時代の女性の労働などを通して、男女の平等や自他の敬愛を重んじ、主体的に社会の形成に  | ①58～63, 66～67, 70～71, 76～77 ページ<br><br>②60～61, 66～67, 74～77, 80～81 ページ<br><br>③64～65, 74～75 ページ                                 |

|  |   |   |
|--|---|---|
|  | <p>参画する態度を養えるようにしました。(第2・3号)</p> <p>④ 気候変動と飢饉を取り上げ、その対策や盆踊りの起源などを通して、生命を尊び、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。(第4号)</p> <p>⑤ 『春日権現験記絵』『粉河寺縁起絵巻』『一遍聖絵』『洛中洛外図屏風』などの鮮明で大きな図版から、文化財に親しめるようにしました。『平家物語』と能「敦盛」の関係や、今日につながる建築・芸能・文芸・行事などの伝統文化が形成された過程を理解し、多くの人たちの協力のもとに東大寺大仏の再建や銀閣の建設が行われたことを学んで、伝統と文化を尊重し継承する態度を養えるようにしました。(第5号)</p> <p>⑥ 宋との盛んな交易や、元との外交・交易・交流・戦争など、東アジアとの関わりの中で日本の社会の変化を考察できるように意を用いました。また、明を中心とする東アジア世界で、琉球王国の交易の役割に注目し、広い視野で知識を深められるようにしました。(第1号)</p>  | <p>④67, 78 ページ</p> <p>⑤58～60, 62, 64～65, 67, 70～71, 74～75, 78～79 ページ</p> <p>⑥56～57, 68～69, 72～73, 80～81 ページ</p>   |
| <p><b>第3部 近世</b><br/>第4章<br/>世界がつながる時代</p> | <p>① コショウ、銀、生糸、絹織物、火縄銃などの産物・製品とそれを扱う人びとに注目して、諸地域とのつながりや政治・経済・社会の変化を、アジアやヨーロッパなど国際的な関係の中で理解し、幅広い知識を身に付けられるようにしました。(第1・2号)</p> <p>② 戦国大名、織田信長、豊臣秀吉、江戸幕府の政策について、南蛮貿易、鉄砲衆、領国経営、検地と刀狩、江戸の町づくり、参勤交代、外交政策などの具体的なテーマを通して政治・社会の大きな変動をつかみ、幅広い知識を身に付けられるようにしました。(第1号)</p> <p>③ 『南蛮屏風』『洛中洛外図屏風』『唐獅子図屏風』などの鮮明で大きな図版から、文化財に親しめるようにしました。ヨーロッパ文化の伝来や桃山文化の特色を、政治や社会の変化の中で捉えられるように意を用い、文化への理解を深められるようにしました。(第1・5号)</p>  | <p>①86～93 ページ</p> <p>②92～103 ページ</p> <p>③88, 92～94, 97 ページ</p>  |
| <p>第5章<br/>百姓と町人の世</p>                     | <p>① 加賀や河内の村、蝦夷地、日本橋などの地域に焦点をあて、交通網の発達により地域と地域がつながる様子や、社会の仕組みをつかんで幅広い見方や知識が身に付くように意を用いました。(第1・2号)</p> <p>② 米、綿花、昆布、砂糖などの生産者や江戸の小商人などの技術や工夫を通して勤労を重んじる態度を養うとともに、米を中心とする経済の仕組みと幕府の改革や百姓一揆など政治・社会の変化について知識を深められるようにしました。(第1・2号)</p> <p>③ シャクシャイン、雨森芳洲、申維翰、徳川吉宗、田沼意次、杉田玄白、大黒屋光太夫、松平定信、ジョン万次郎、渡辺華山、高野長英、水野忠邦、などの人物に焦点をあて、その行動や発言を通して政治・社会・学問・他国との関係などを幅広く理解するとともに、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました。(第1・3号)</p> <p>④ 蘭学や国学などの新しい学問を開いた人びとの熱意と努力を通して、真理を探究する態度を養えるようにしました。(第1・3号)</p> <p>⑤ 寺子屋の風景や学習内容などを取り上げて、江戸時代の教育について、生徒が親しみをもって理解できるように意を用いました。(第2号)</p> <p>⑥ 『上野浅草風俗図巻』『熙代勝覧』、喜多川歌麿や葛飾北斎の浮世絵などの鮮明な図版から、文化財に親しみ、伝統と文化を尊重する態度を養えるようにしました。また、元禄文化や化政文化の特色を、商業の発達や町人・庶民の成長、教育の普及と関連させて記述し、文化を生み出す背景への理解を深められるようにしました。(第1・5号)</p> | <p>① 108～111, 114～115, 120～121 ページ</p> <p>② 108～111, 114～115, 118～123 ページ</p> <p>③ 114～119, 124～125, 128～131 ページ</p> <p>④124～125 ページ</p> <p>⑤126～127 ページ</p> <p>⑥ 112～113, 120～121, 126～127 ページ</p> |
| <p><b>第4部 近代</b><br/>第6章<br/>世界は近代へ</p>    | <p>① アメリカ合衆国の独立、フランス革命、産業革命など欧米の近代化について、人びとの生活を通して大きな変化が理解できるように意を用いました。アメリカ先住民、フランス革命期の女性、ハイチ革命、産業革命期の児童労働などを通して、個人の価値や正義の実現を重んじる態度を養えるようにしました。(第1・2・3号)</p> <p>② 産業革命の進展と欧米のアジア進出について、綿花、絹織物、アヘン、茶などの生産や貿易に焦点をあて、世界の変化が理解できるよう</p>  | <p>①138～143 ページ</p> <p>②142～143, 146～151 ページ</p>  |

|                               |  |   |
|-------------------------------|--|---|
|                               | 意を用いました。(第1号)<br>③ 幕末の政治や社会の変動を、開港・貿易による社会の変化、幕府と薩摩・長州などの勢力との対立と戦争、民衆の生活と行動の視点から理解を深められるよう意を用いました。(第1号)  | ③150～157 ページ  |
| 第7章<br>近代国家へと<br>歩む日本         | ① 日本の近代化の歩みについて、新政府の諸改革を理解するとともに、福沢諭吉、中江兆民、千葉卓三郎、伊藤博文などの人物に焦点をあて、日本が、欧米の思想や制度に影響を受けながら近代化をとげ、立憲政治を成立させるに至った道りを理解し、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました。(第1・3号)<br>② 津田梅子、横田英、楠瀬喜多、岸田俊子などの女性たちを取り上げ、男女の平等を重んじ主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました。(第3号)<br>③ 学校制度の特色について、地域の教育振興への願いや生徒が身近に感じられる教科書の内容などを通して理解し、歴史を主体的に学ぶように意を用いました。(第2号)<br>④ 条約改正への取り組みや、外交・領土の画定などについて、国際的な関係を理解し、他国を尊重し国際平和に寄与する態度を養えるようにしました。(第1・5号)<br>⑤ 沖縄やアイヌの人びとの生活の状況を理解し、先住民族や様々な地域が等しく尊重される社会の形成に寄与する態度を養えるようにしました。(第3号)  | ①162～175 ページ<br>②167, 168, 170～171 ページ<br>③164～165 ページ<br>④166～167, 176～177 ページ<br>⑤176～177 ページ                       |
| 第5部 二つの世界大戦<br>第8章<br>帝国主義の時代 | ① 列強が武力を背景に各地を分割・植民地化していった世界の状況を理解して、第一次世界大戦につながる戦争の背景・原因をつかむとともに、分割されたり戦場となったりした国や地域、戦場の兵士や国民の生活などを通して、他国を尊重し国際平和に寄与する態度を養えるようにしました。(第1・5号)<br>② 第一次世界大戦後の国際協調の動きや民族運動、普通選挙運動、女性運動、労働運動などを、国際的なつながりの中で理解できるように意を用い、正義と責任を重んじ主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました。(第1・3・5号)<br>③ 製糸工女や米騒動に関わった女性、『青鞥』の発刊や女性参政権運動、柳寛順など植民地の女性の願いや行動を取り上げ、男女が共に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました。(第3号)<br>④ 普通選挙運動の進展と第1回普通選挙、選挙権を得られなかった人びとについての理解を通して、主権者としての意識を高め、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるようにしました。(第1・2・3号)<br>⑤ ハンセン病患者に対する隔離政策を取り上げ、ハンセン病への正しい理解を促進し、偏見や差別のない社会の形成に寄与する態度を養えるようにしました。(第3号)<br>⑥ 外山亀太郎のカイコの遺伝の研究や黒田清輝の洋画など学問・教育・芸術において、伝統的な文化の上に欧米文化を取り入れて近代文化がつくられていったことを理解し、日本の文化への理解を深めてこれを尊重する態度を養えるようにしました。(第1・5号) | ① 184～189, 192～193, 196～203 ページ<br>②198～209 ページ<br>③194, 202, 204～209 ページ<br>④208～209 ページ<br>⑤209 ページ<br>⑥190～191 ページ |
| 第9章<br>第二次世界大戦の時代             | ① 世界恐慌と各国の対策、ファシズムの台頭、日本の中国侵略を経て第二次世界大戦が起こった背景・戦争の経過・結果を理解できるように意を用いました。戦争の原因を考え、戦争の惨禍を知って、他国を尊重し国際平和に寄与する態度を養えるようにしました。(第1・5号)<br>② 戦場の兵士の戦いととも、戦時下の国民生活、勤労働員や学童疎開など、全国民を巻き込んだ総力戦について理解できるようにしました。沖縄戦や原爆被害の体験者や、アジアの戦争被害者の証言、また、『アンネの日記』や少年飛行兵など若者の声と姿に接して、自主的に歴史と向き合って学び、国際平和に寄与する態度を養えるようにしました。(第1・2・5号)<br>③ 「東京行進曲」から、雑誌、映画、流行歌、ラジオなどが関わりあ  | ①216～243 ページ<br>②224～243 ページ<br>③214～215 ページ  |

|   |   |  |
|---|---|--|
|   | って大衆文化が形成されていく過程を理解し、産業の変化や社会との関連をつかんで、文化への多角的な関心を高められるようにしました。(第1・5号)  |  |
| 第6部 現代<br>第10章<br>現代の日本と世界                                      | <p>① 戦後改革と社会の変化を理解し、初の女性国会議員や子供議会などを通して、主体的に社会に参画する態度を養えるようにしました。(第1・3号)</p> <p>② 日本国憲法の制定過程を通して、国の基本法である憲法への理解を深め、日本と世界の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第1・5号)</p> <p>③ サンフランシスコ講和会議、日米安保条約の改定、高度経済成長、沖縄返還、日中国交正常化、石油危機などを経て日本が歩んだ道と、朝鮮戦争、冷戦、ベトナム戦争、社会主義陣営の崩壊とグローバル化など世界の歩みを関連させて理解し、日本と世界の課題に関心を深めて平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第1・5号)</p> <p>④ パレスチナ、ウクライナやシリアなど戦争が続く国・地域や難民問題について関心を高め、植民地支配や戦時下の人権侵害を問い直す国際的な動きにも目を向けて、正義と責任を重んじ、国際社会の平和と発展のために寄与する態度を養えるようにしました。(第3・5号)</p> <p>⑤ 核実験による被ばく問題、公害問題、東日本大震災と福島原子力発電所の事故から、科学技術と環境との関係を考え、生命を尊び環境保全に寄与する態度を養えるようにしました。(第4号)</p> <p>⑥ 子どもの姿や声、行動などを随所に入れ、個人の価値を尊重してその能力を伸ばし、社会の一員として主体的に社会に参画する態度を養えるようにしました。(第2・3号)</p> <p>⑦ 1918年のインフルエンザ、根絶宣言を出すことができた天然痘、新型コロナウイルスなど感染症の歴史についての理解を深め、日本と世界の発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第1・5号)</p> | <p>①248～249 ページ<br/>252～253 ページ</p> <p>②250～251 ページ</p> <p>③254～277 ページ</p> <p>④268～273, 276～277 ページ</p> <p>⑤ 258～259, 262～263, 274～275 ページ</p> <p>⑥246～253, 256, 259, 261～263, 266～267, 270～277 ページ</p> <p>⑦276～277</p> |
| 身近な地域の歴史を調べる  | ① 地域の博物館での学習や、江戸時代につくられた水路の調査などを通して、郷土の歴史に関心を深め、郷土の文化を尊重し、継承する態度を養えるようにしました。(第5号)   | ①132～133 ページ   |
| 歴史を体験する   | <p>① 火おこし、糸紡ぎなどの体験学習を通して自主性、創造性を培い、生活との関連を重視して歴史の理解を深められるようにしました。(第1・2号)</p> <p>② インターネットや図書などを利用した調べ方、討論学習や家族からの聞き取り方などをていねいに示しました。調べる、まとめる、発表する、話し合うなどの活動を通して、個人の価値を尊重し、思考力や創造性を培うことができましたようにしました。(第1・2号)</p>   | <p>①34～35, 158～159 ページ</p> <p>②104～105, 178～179, 210～211, 278～279 ページ</p>  |
| 年表  | <p>① 歴史のできごとを相互に関連付けて考察したり、日本各地のできごとを世界の動きと関連付けて考えたりできるように意を用い、思考力や創造性を培えるようにしました。(第1・2号)</p> <p>② 政府のしくみ図や系図を掲載し、学習を整理して幅広い知識を深められるようにしました。(第1号)</p> <p>③ 写真を豊富に載せて、文化財に親しみ、伝統と文化を尊重する態度を養えるようにしました。(第1・5号)</p>  | <p>①282～293 ページ</p> <p>②282, 284, 286, 288 ページ</p> <p>③282～293 ページ</p>   |
| 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色   |   |  |
| すべての地図・グラフを、色覚特性の個人差を問わず読み取りやすいものにし、知識や思考力を深められるようにしました。(第1・5号) |   |  |

# 編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

|               |               |            |       |     |
|---------------|---------------|------------|-------|-----|
| ※受理番号         | 学校            | 教科         | 種目    | 学年  |
| 105-14        | 中学校           | 社会         | 歴史的分野 | 1～3 |
| 発行者の<br>番号・略称 | 教科書の<br>記号・番号 | 教科書名       |       |     |
| 229 学び舎       | 歴史 229-72     | ともに学ぶ人間の歴史 |       |     |

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### ① 教科書の構成と特色

歴史への案内、原始・古代、中世、近世、近代、二つの世界大戦、現代の6つの部と、10章からなっています。世界の歴史を背景に、日本の歴史の流れを大きくつかみ、理解するとともに、豊富な資料から、調べ、まとめる技能を身に付け、多面的・多角的な考察を深めて、さまざまな表現活動ができるようにしました。

|        | 第1部<br>原始 古代 |    | 第2部<br>中世 | 第3部<br>近世 |    | 第4部<br>近代 | 第5部<br>二つの世界大戦 |    | 第6部<br>現代 |     |
|--------|--------------|----|-----------|-----------|----|-----------|----------------|----|-----------|-----|
| 歴史への案内 | 1章           | 2章 | 3章        | 4章        | 5章 | 6章        | 7章             | 8章 | 9章        | 10章 |

★章の冒頭に「章の扉」、章末に「章をふりかえる」、部末に「学習のまとめ」、特設ページとして「歴史を体験する」を7箇所に置きました。年表、索引、歴史地図などを充実させ、歴史のできごとの相互の関連をつかんで、多面的・多角的な思考を深められるようにしました。

### ② 章の扉の特色

北極を中心とした世界地図をえがき、章のテーマに基づいたその時代の各地のようすを表す写真や絵を配置して、生徒の興味・関心を引き出すようにしました。部の冒頭には、大きな時代を見渡した学習課題を置き、課題意識の育成をはかりました。

#### 章の扉

★各章のテーマ・1章 動物とともに生きる 2章 宗教の広がり 3章 世界を結ぶ交通手段 4章 世界がつながる時代 5章 世界遺産に見る世界 6章 万国博覧会に見る世界 7章 岩倉使節団が見た世界 8章 変わる世界の女性たち 9章 大戦の終わりを迎えた世界 10章 今、世界の子どもたちは



⑤ 特設ページ「歴史を体験する」

火おこしや糸紡ぎなどの体験学習を詳しく紹介しました。また、インターネットや博物館などを利用した調べ学習、体験者からの聞き取りやまとめ方、討論の方法などの学習の仕方をていねいに紹介しました。

⑥ 地域の視点と調査・考察・表現

歴史の現場となった各地域の様相・できごとを具体的に記述し、地域の視点から歴史を考えられるように工夫しました。地域の遺跡や文化財、博物館や資料館を各所で取り上げました。地域の文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現することができるように配慮しました。

★歴史を体験する

- ・火と人類の歴史をさぐる
- ・インターネットで『洛中洛外図屏風』を見る
- ・綿から糸を紡ぐ
- ・山本宣治の人物調べ
- ・一人ひとりの歴史・家族の歴史



▲地域の歴史を歩く p132~133



▲対話・討論にチャレンジ p178~179

⑦ 世界の歴史の扱いの充実

背景となる世界史を充実させ、日本と世界の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考察し、歴史に見られる文化や生活の多様性に気付くことができるように構成しました。



▲3章(13) アジアの海をつなぐ王国 p80~81

★ 宗教のおこりについて、第1章で、開祖と当時の社会のようす、教義などについて具体的に叙述しました。ギリシア・ローマの文明について、民主政治の来歴の観点から記述を充実させました。

第3章ではユーラシアの変化や琉球の国際的な役割・文化を描き、第4章は「世界がつながる時代」として東アジア・大西洋・インド洋の交易・交流を具体的に記述しました。北東アジアの動向にも目を向けました。

⑧ 近・現代史学習の充実

近・現代史学習に、5つの章で61テーマを設定しました。第二次世界大戦後の現代史学習は、21世紀までテーマを設定し、生徒自らが歴史的事象を今日の社会と結びつけ、よりよい日本の社会と世界の実現を視野に、さまざまな社会の課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養えるようにしました。



▲9章(12) 町は火の海 p236~237



▲10章(1) 焼け跡からの出発 p248~249



▲10章(15) 感染症に立ち向かう p276~277

⑨ 伝統や文化の扱い

文化遺産や作者の名前だけに止まらず、文化を生み出した人びとの願いと社会の状況、文化を継承していった人びとの営みなどを具体的に描き出しました。



▲2章(7)女性作家の登場 p50~51



▲3章(12)禅の文化、民衆の文化 p78~79

⑩ 歴史上の人物の扱い

指導的な立場の人物だけでなく、さまざまな分野・階層の男女の生活や社会的な業績を具体的に叙述しました。子どもや若者の生き方や労働・学習について取り上げ、生徒の関心と共感をよび起こせるようにしました。



▲5章(10)寺子屋の子どもたち p126~127



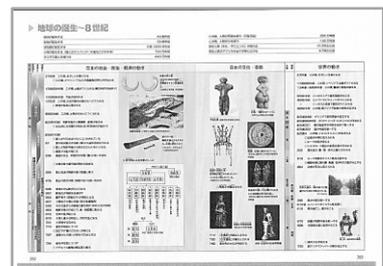
▲8章(6)生糸と鉄 p194~195



▲10章(3)走れ、ぞう列車 p252~253

⑪ 年表

「日本の社会・政治・経済の動き」「日本の文化・宗教」「世界の動き」の欄を設け、日本のできごとを世界のうごきと関連してつかめるようにしました。政府のしくみ図や系図、経済や文化の写真を豊富に載せ、学習を整理して、思考力、判断力を深められるようにしました。「北海道など」「本州など」「沖縄など」の欄を設けて、各地域のできごとを具体的に捉えられるように工夫しました。



▲年表 地球の誕生~8世紀 p282~283

⑫ 歴史地図・グラフをカラーユニバーサルデザインにしています。

すべての地図・グラフを色覚特性の個人差に配慮して、読み取りやすくしました。裏見返しの「歴史地図(日本)」では、千島列島から南西諸島に至る全域を1枚に収めて、日本全体をとらえられるようにしました。

⑬ 索引

歴史事象や日常の事物の多角的・多面的な理解を深めるために、索引ページを充実させました。「琉球」「蝦夷地」などの地域名、「綿織物」「生糸」「銀」などの物産を見出し語とし、歴史を通観できるようにしました。

⑭ 教科書を無理なく読み通し、読み解くことを通じて言語活動の裾野を広げることができるよう、各章の学習内容とともに、文章表現や漢字の使用・ルビ振り等を、想定される学習学年に即して編集しました。

⑮ 判型をA4判とし、豊富な資料と記述を盛り込めるようにしました。見やすく印象的な紙面にしています。また、堅牢さを確認できたPUR製本をとりました。環境に配慮した再生紙、植物油インクを使用しています。

対照表

| 図書の構成・内容   | 学習指導要領の内容              | 該当箇所   | 配当時数          |
|--|------------------------|--|---------------|
| <b>歴史への案内</b><br>1 ～3<br>4 地域の博物館で調べる                            | A(1) ア イ<br>A(2) ア イ   | 4～9 ページ<br>132～133 ページ   | 4 時間          |
| <b>第1部 原始・古代</b><br>第1章 文明のはじまりと日本列島<br>・11 テーマ<br>・第1章をふりかえる    | B(1) ア イ<br>※ア イ ウ エ   | 10～35<br>12～33 ページ<br>34 ページ   | 11 時間<br>1 時間 |
| 第2章 日本の古代国家<br>・7 テーマ<br>・第2章をふりかえる 第1部のまとめ                      | B(1) ア イ<br>※ア イ ウ エ   | 36～53 ページ<br>38～51 ページ<br>52～53 ページ  | 7 時間<br>1 時間  |
| <b>第2部 中世</b><br>第3章 武士の世<br>・14 テーマ<br>・第3章をふりかえる 第2部のまとめ       | B(2) ア イ<br>※ア イ ウ エ   | 54～85 ページ<br>56～83 ページ<br>84～85 ページ  | 13 時間<br>1 時間 |
| <b>第3部 近世</b><br>第4章 世界がつながる時代<br>・8 テーマ<br>・第4章をふりかえる           | B(3) ア イ<br>※ア イ ウ エ   | 86～105 ページ<br>86～103 ページ<br>104 ページ  | 9 時間<br>1 時間  |
| 第5章 百姓と町人の世<br>・12 テーマ<br>・第5章をふりかえる 第3部のまとめ                     | B(3) ア イ<br>※ア イ ウ エ   | 106～135 ページ<br>108～131 ページ<br>134～135 ページ  | 12 時間<br>1 時間 |
| <b>第4部 近代</b><br>第6章 世界は近代へ<br>・10 テーマ<br>・第6章をふりかえる             | C(1) ア イ<br>※ア イ ウ エ   | 136～159 ページ<br>138～157<br>158 ページ  | 10 時間<br>1 時間 |
| 第7章 近代国家へと歩む日本<br>・8 テーマ<br>・第7章をふりかえる 第4部のまとめ                   | C(1) ア イ<br>※ア イ ウ エ   | 160～181 ページ<br>162～177 ページ<br>180～181 ページ  | 8 時間<br>1 時間  |
| <b>第5部 二つの世界大戦</b><br>第8章 帝国主義の時代<br>・13 テーマ<br>・第8章をふりかえる       | C(1) ア イ<br>※ア イ ウ エ   | 182～211 ページ<br>184～209 ページ<br>210 ページ  | 13 時間<br>1 時間 |
| 第9章 第二次世界大戦の時代<br>・15 テーマ<br>・第9章をふりかえる 第5部のまとめ                  | C(1) ア イ<br>※ア イ ウ エ   | 212～245 ページ<br>214～243 ページ<br>244～245 ページ  | 15 時間<br>1 時間 |
| <b>第6部 現代</b><br>第10章 現代の日本と世界<br>・15 テーマ<br>・第10章をふりかえる 第6部のまとめ | C(2) ア イ<br>※ア イ ウ エ キ | 246～281 ページ<br>248～277 ページ<br>279～281 ページ  | 15 時間<br>1 時間 |
| 章の扉  | ※イ<br>(課題意識の育成)        | 10～11, 36～37, 54～55, 84～85, 106～107, 136～137, 160～161, 182～183, 212～213, 246～247 ページ |               |
| 部の学習課題   | ※イ<br>(課題意識の育成)        | 11, 55, 87, 137, 183, 247 ページ  |               |
| 歴史を体験する  | ※イ ウ エ カ ク             | 34～35, 104～105, 132～133, 158～159, 178～179, 210～211, 278～279 ページ                      |               |
| 年表   | ※イ オ                   | 282～293 ページ  |               |
| 索引   | ※イ                     | 294～299 ページ  |               |
|  |                        | 計<br>(予備として3時間を含む)   | 130 時間        |